

令和５年度 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)精度管理委員会 要旨

1 開催日時

令和５年12月19日(火) 午後２時から午後３時まで

2 開催方法

「Zoom ミーティング」を利用した Web と対面開催(事務局:吹田市成人保健課)

3 出席委員

塚原康生 委員 相馬孝 委員 辻井健一 委員 林史郎 委員 水野智恵美 委員
長生幸司 委員 林義人 委員 狭間礼子 委員 川西克幸 委員

4 欠席委員

なし

5 市出席者

健康医療部成人保健課

課長 村山靖子 主幹 川見知佳 主査 上田雅子 主査 岡野 沙和 係員 古賀 美寿紀
係員 上島千佳

6 内容

(1) 委員紹介・事務局紹介

(2) 委員長の選出

塚原委員に決定。

(3) 報告事項

ア 令和５年度 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)実施状況について【資料１】

イ 令和４年度 胃がん検診(胃内視鏡検査)チェックリストについて【資料２】

ウ 偶発症について

(4) その他意見交換

ア 胃がん検診(胃内視鏡検査)の今後のあり方について

A 委員

令和５年度、胃がん検診エックス線検査の精検受診率が極端に減少しているが、年度途中のため最終的に経年どおりの値まで上昇するという解釈でよろしいか。

事務局

現在、途中経過で低い状態となっているが、今後、医療機関より精検結果の返送があれば、上昇すると思われる。

B 委員

市が実施している胃がん検診を受診された方で胃癌ではない、他のがんが見つかったケースはあるのか。また、50 歳から 60 歳の層の初回受診者の割合が年々減少している点についてどう考えているか。

事務局

データを集計していないが、食道がんが見つかったケースはあった。確認次第、報告する。また、初回受診率の減少について、胃内視鏡検査については、令和2年1月からスタートし、令和4年に2回目の胃内視鏡検査受診された方も増加しているため、初回受診率が減少していると考えている。職場等でがん検診を受診している方も増加しているため、今後、市が実施しているがん検診の受診率の向上については、難しい現状がある。ただ、国民健康保険加入者や生活保護受給者については、職場等や人間ドックで受ける機会が少ないため、そちらの方の受診率向上に努め、初回受診者の方、今まで受けたことがない方に受けていただきたいと考えている。

C 委員

経年の胃がん検診の医療機関別件数等を拝見し、それぞれの施設が、偏りなく検査を実施できしており、この3年間大きなトラブルもなく、スムーズに検診が遂行された。初めは非常に煩雑で難しい部分があったが、年々スムーズにできていると感じる。ひとつ提案として、内視鏡の画像データをデータベースとして全部取り込み、保存してはどうか。データベースとして保存しておけば、比較読影や、がんを発症する前の数年間の画像も見ることができ、後身の方々の勉強にもなると思う。

事務局

市町村が行うがん検診については、国の指針等で画像の保存年限等が定められており、現時点で画像は協力医療機関で5年間保存になっている。今後、比較読影をすべきかどうか、どのような体制をとれるのか等については、吹田市医師会の先生方のご意見も踏まえ、対応等について検討していきたい。データを長期間保管する場合は、管理方法等含めた議論が必要である。また、クラウドを使用している市町村もあるが、本市では、個人情報等を有するデータのクラウドへの保存については現在、関係部局で検討中である。今後、クラウドの使用について明らかになった際には、二次読影の体制や運用方法などについて検討していきたい。

D 委員

現状、読影は医師会に委託しているため、成人保健課では、現在、画像は保管していない。市が画像等を保管管理するとなると、どこにデータを保存するのか、データの保存年限について等の事項を定める必要があり、現状では運営することは難しい。現在、乳がん検診では、個人を判別し、各医療機関からデータを取り寄せており、乳がん検診と同様の流れで、医師会で画像管理するのであれば、実施できる可能性があると思う。今後、医師会としても考えていきたい。

C 委員

市において医療情報の取り扱い等、様々な問題があるため、検討いただき、次回に、事務局からご説明いただければと思う。また、学識経験者から吹田市胃がん検診内視鏡検査について、ご意見とご助言をお願いしたい。

A 委員

精度管理自体問題なく実施できている。どこを目指すのか、受診者数の増加についてどう考えるかは、一つポイントだと思う。全国の中で、大阪府は、一番検診受診率が低い。受診率の向上という点は、府全体として考えていかないといけない。人間ドック等含め、検診受診へのニーズが高まることが予測されることも踏まえると、全体的に受診率は 50%弱程度と把握している。大阪府は、全国では一番下のランクであるため、吹田市が、その中で引っ張っていけるような形になればと思う。

C 委員

今日結論が出なかった内容については、事務局の方で検討し、次回また説明ください。